

第19回筑波大学交通安全会理事会議事次第

1. 日 時 平成27年 9月 18日(金) 17時30分から
2. 場 所 本部棟 5階 大会議室
3. 議 事

(審議事項)

- (1) 第18回理事会議事要旨について・・・資料・1
- (2) 平成26年度決算報告及び執行状況について・・・資料・2
- (3) 平成27年度予算(案)について・・・資料・3
- (4) 委託外注費の節減(案)について・・・資料・4
- (5) 駐車場ゲート機器に係る年間電気料金の支払いについて・・・資料・5
- (6) その他

(報告事項)

- (1) 平成27年度事業内容について・・・資料・6
- (2) 交通安全会における検討事項・・・資料・7
- (3) その他

資料・1

第18回筑波大学交通安全会理事会議事要旨

1. 日 時 平成27年3月20日(金) 17時30分から
2. 場 所 本部棟 8階 特別議室
3. 出席者 (理 事)
東、石田、岩澤、三輪、飯田、石濱、矢澤、井田、大高、久佐野、高木、鷹津
(監 事)
島田、成瀬、榑
(委任出席)
喜多、佐藤、星野、石濱、石代、五十嵐、
4. 列席者 (交通安全会) 黒沼、(総務) 山田、(財務) 黒岩
(図書館情報エリア支援室) 鈴木

5. 配布資料

審議事項

- | | |
|-------------------------|------|
| (1) 第17回理事会議事要旨について | 資料・1 |
| (2) 平成25年度決算報告について | 資料・2 |
| (3) 平成26年度予算及び執行状況について | 資料・3 |
| (4) 平成27年度予算(案)について | 資料・4 |
| (5) 春日地区駐車場のゲート化(案)について | 資料・5 |
| (6) その他 | |

報告事項

- | | |
|-------------------------------|------|
| (1) 平成26年度事業内容について | 資料・6 |
| (2) 防災倉庫の移設に伴う本部北駐車場台数の減少について | 資料・7 |
| (3) その他 | |

6. 議 事

議事に先立ち会長より、本日欠席のうち6名の理事からは、会長へ本会の議事すべてが委任されており、本会は成立している旨の説明があった。

審議事項

- (1) 第17回理事会議事要旨
会長より、資料1に基づき説明があり、原案どおり承認された。
- (2) 平成25年度決算報告について
事務局より、資料2に基づき説明があり、原案通り承認された。当期は、平成26年度からの消費税増税に先立ち、事務用品、備品等の補充、駐車場内補修工事等を

前倒して実施した為、赤字決算となった旨の説明があり、了承された。

(3) 平成26年度予算及び執行状況について

事務局より、資料3に基づき説明があり、原案通り承認された。また、三輪理事より、ゲートバーの破損状況等についての質問があり、事務局よりゲートバーの単価及び年間の損害状況等の説明がされた。

(4) 平成27年度予算(案)について

事務局より、資料4に基づき説明があり、原案通り承認された。また、26年度決算額が確定したら、次回理事会において改めて審議していただきたい旨の説明があり、承認された。

(5) 春日地区駐車場のゲート化(案)について

事務局より、資料5に基づき説明があり、高細精イノベーション棟の竣工、運用開始に伴う駐車場利用者の増加を見込み、次年度以降のゲート設置に向け、検討していくことで承認された。また、岩澤理事より、一般学外者の違反駐車だけでなく、学内者の不適切な駐車等も頻出している旨の発言があり、ゲート化は必要であるとの意見があった。

報告事項

(1) 平成26年度事業内容について

事務局より、資料6に基づき説明があった。

(2) 防災倉庫の移設に伴う本部北駐車場台数の減少について

事務局より、資料7に基づき説明があった。

(3) その他

事務局より、席上配布資料の説明があり、審議事項(5)に関連して、一の矢地区駐車場の運用の見直し、会費の見直し(値上げ)等、次年度以降の検討事項として、了承された。

会長より、理事会の開催時期について次年度は早期に開催をしたい旨の発言があった。また副学長任期満了により今期で退任との御挨拶があった。

決算報告書

第13期

自 平成 26 年 4 月 1日

至 平成 27 年 3 月 31日

筑波大学交通安全会

貸借対照表

平成 27 年 3 月 31 日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資 産 の 部			
1 流 動 資 産			
現 金	727,523	486,923	240,600
普 通 預 金	35,968,819	32,686,512	3,282,307
前 払 金	0	1,296	△ 1,296
貯 蔵 品	2,268,000	2,205,000	63,000
流 動 資 産 合 計	38,964,342	35,379,731	3,584,611
2 固 定 資 産			
(1) その 他 固 定 資 産			
機 械 装 置	84,333	103,987	△ 19,654
工 具 器 具 備 品	274,050	456,750	△ 182,700
その 他 固 定 資 産 合 計	358,383	560,737	△ 202,354
固 定 資 産 合 計	358,383	560,737	△ 202,354
資 産 合 計	39,322,725	35,940,468	3,382,257
II 負 債 の 部			
1 流 動 負 債			
未 払 金	7,621,230	3,699,717	3,921,513
前 受 金	26,798,700	25,570,209	1,228,491
未 払 法 人 税 等	72,000	72,000	0
未 払 消 費 税 等	541,100	47,100	494,000
流 動 負 債 合 計	35,033,030	29,389,026	5,644,004
負 債 合 計	35,033,030	29,389,026	5,644,004
III 正 味 財 産 の 部			
1 一 般 正 味 財 産	4,289,695	6,551,442	△ 2,261,747
正 味 財 産 合 計	4,289,695	6,551,442	△ 2,261,747
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	39,322,725	35,940,468	3,382,257

正味財産増減計算書

平成 26 年 4 月 1 日 から 平成 27 年 3 月 31 日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 事業収益	55,647,414	55,243,405	404,009
一般会費収入	55,802,809	55,035,360	767,449
臨時会費収入	1,972,010	1,892,990	79,020
会費返金	△ 2,127,405	△ 1,684,945	△ 442,460
経常収益計	55,647,414	55,243,405	404,009
(2) 経常費用			
① 事業費			
貯蔵品期首棚卸高	2,205,000	2,205,000	0
貯蔵品仕入高	2,268,000	2,205,000	63,000
貯蔵品期末棚卸高	△ 2,268,000	△ 2,205,000	△ 63,000
通信費	105,217	100,785	4,432
減価償却費	202,354	39,984	162,370
消耗品費	1,047,320	1,707,655	△ 660,335
修繕費	5,748,840	7,323,792	△ 1,574,952
租税公課	561,300	67,100	494,200
委託外注費	28,634,034	26,429,175	2,204,859
リース料	15,098,832	15,098,832	0
支払手数料	60,696	65,625	△ 4,929
事業費計	53,663,593	53,037,948	625,645
② 管理費			
給料手当	3,410,580	3,344,920	65,660
減価償却費	0	2,436	△ 2,436
修繕費	264,028	263,834	194
租税公課	72,000	72,000	0
リース料	196,560	213,885	△ 17,325
支払手数料	302,400	294,000	8,400
管理費計	4,245,568	4,191,075	54,493
経常費用計	57,909,161	57,229,023	680,138
当期経常増減額	△ 2,261,747	△ 1,985,618	△ 276,129
科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除売却損	0	9,744	△ 9,744
経常外費用計	0	9,744	△ 9,744
当期経常外増減額	0	△ 9,744	9,744
当期一般正味財産増減額	△ 2,261,747	△ 1,995,362	△ 266,385
一般正味財産期首残高	6,551,442	8,546,804	△ 1,995,362
一般正味財産期末残高	4,289,695	6,551,442	△ 2,261,747
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	4,289,695	6,551,442	△ 2,261,747

収支計算書

平成 26 年 4 月 1 日 から 平成 27 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
① 事業収入	53,167,000	55,647,414	△ 2,480,414	
一般会費収入	52,333,000	55,802,809	△ 3,469,809	
臨時会費収入	2,014,000	1,972,010	41,990	
会費返金	△ 1,180,000	△ 2,127,405	947,405	
事業活動収入計	53,167,000	55,647,414	△ 2,480,414	
2 事業活動支出				
① 事業費支出				
貯蔵品仕入支出	2,268,000	2,268,000	0	
通信費支出	94,629	105,217	△ 10,588	
消耗品費支出	1,427,657	1,047,320	380,337	
修繕費支出	5,602,629	5,748,840	△ 146,211	
租税公課支出	490,000	561,300	△ 71,300	
委託外注費支出	25,298,742	28,634,034	△ 3,335,292	
リース料支出	15,462,316	15,098,832	363,484	
支払手数料支出	68,914	60,696	8,218	
事業費支出計	50,712,887	53,524,239	△ 2,811,352	
② 管理費支出				
給料手当支出	3,146,000	3,410,580	△ 264,580	
修繕費支出	290,212	264,028	26,184	
租税公課支出	72,000	72,000	0	
リース料支出	273,456	196,560	76,896	
支払手数料支出	302,400	302,400	0	
管理費支出計	4,084,068	4,245,568	△ 161,500	
事業活動支出計	54,796,955	57,769,807	△ 2,972,852	
事業活動収支差額	△ 1,629,955	△ 2,122,393	492,438	
II 投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
投資活動収入計	0	0	0	
2 投資活動支出				
① 固定資産取得支出	0	0	0	
什器備品取得支出	0	0	0	
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
III 財務活動収支の部				
1 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出	0	—	0	
	0			
当期収支差額	△ 1,629,955	△ 2,122,393	492,438	
前期繰越収支差額	3,785,705	3,785,705	0	
次期繰越収支差額	2,155,750	1,663,312	492,438	

資金の範囲：現預金・前払金・未払金(未払法人税・未払消費税を含む)・前受金

※ 収支差額＝現金・預金(未払金+前払金+未払法人税等+未払消費税等+前受金)

支出科目区分(事業費 ⇔ 管理費)

	総支出額	事業費分		管理費分	
通信費支出	105,217	(全額)	105,217	-	-
消耗品費支出	1,047,320	(全額)	1,047,320	-	-
修繕費支出	6,012,868	右記以外(機器保守・修繕)	5,748,840	事務機保守(コピー機)	264,028
租税公課支出	633,300	租税公課(印紙代・消費税) 法人税等のうち右記以外 (法人税、均等割以外の法人 税・市民税)	561,300	法人税等のうち、法人税・市 民税の均等割分	72,000
リース料支出	15,295,392	右記以外(機器設備リース 料)	15,098,832	事務機リース料(コピー機)	196,560
支払手数料支出	363,096	右記以外(振込手数料)	60,696	税務・会計関連費(税理士 法人報酬)	302,400

その他の注記

(1) 未経過リース料 22,574,076円がある。

平成26年度 執行状況及び事業内容

区 分	予 算 額	執 行 額	事 項
【事業費支出】			
貯蔵品(パスカード)	2,268,000	2,268,000	
		2,268,000	パスカード(4200枚購入費)
通 信 費	94,629	105,217	
		35,796	ホームページ管理費
		69,421	警備員連絡用携帯電話
消 耗 品 費	1,427,657	1,047,320	
		701,720	事務用備品、申請書、駐車違反シール等
		345,600	ゲートバー予備(10本)
修 繕 費	5,602,629	5,748,840	
		3,343,680	ゲート機器定期保守
		336,960	ゲート液晶パネル交換取付等
		567,000	ゲート電話機調整改修工事
		669,600	駐車場内道路等補修工事
		831,600	駐車場内樹木剪定工事
租 税 公 課	490,000	561,300	
		20,200	収入印紙
		541,100	消費税・地方消費税
委 託 外 注 費	25,298,742	28,634,034	
		22,965,120	交通整理等取締業務外注費 : 駐車場取締要員2名×2班(日勤、夜勤) : 医学ゲート駐車場受付1名×2班(日勤、夜勤)
		5,668,914	事務室派遣事務員1名 他(受付臨時増員)
リ ー ス 料	15,462,316	15,098,832	
		15,098,832	ゲート機器、事務室管理機器賃借料
支 払 手 数 料	68,914	60,696	
		60,696	常陽銀行振込手数料・郵便局振替手数料

区 分	予 算 額	執 行 額	事 項
【管理費支出】			
給 料 手 当	3,068,000	3,332,580	
		3,332,580	交通安全会 事務職員1名 給与
旅 費 交 通 費	78,000	78,000	
		78,000	交通安全会 事務職員1名 通勤手当
修 繕 費	290,212	264,028	
		265,028	コピー機保守
租 税 公 課	72,000	72,000	
		72,000	法人税等均等割額
寄 付 金			
リ ー ス 料	273,456	196,560	
		196,560	コピー機リース
支 払 手 数 料	302,400	302,400	
		270,000	税理士報酬
		32,400	公益法人決算作成指導料

平成27年度 収 支 予 算 (案)

27年度予算(案)は、26年度予算額をベースとし、消費税率8%引き上げに準じた課税対象となる事業費、管理費支出を試算したもの。(給料手当、租税公課は非課税)

(単位 円)

科 目	26年度予算額	26年度決算額	差 異	27年度予算額	備 考
I 事業活動収支の部					
1 事業活動収入					
① 事業収入	53,167,000	55,647,414	2,389,114	55,700,000	
一般会費収入	52,333,000	55,802,809	3,469,809	55,500,000	
臨時会費収入	2,014,000	1,972,010	140,290	1,950,000	
会費返金	△ 1,180,000	△ 2,127,405	△ 947,405	△ 1,750,000	
② 雑収					
受取利息収入					
雑収入					
事業活動収入計	53,167,000	55,647,414	2,480,414	55,700,000	
2 事業活動支出					
① 事業費支出					
貯蔵品仕入支出	2,268,000	2,268,000	0	2,268,000	パスカード仕入
通信費支出	94,629	105,217	△ 10,588	97,000	
消耗品費支出	1,427,657	1,047,320	380,337	1,100,000	
修繕費支出	5,602,629	5,748,840	△ 146,211	5,800,000	
租税公課支出	490,000	561,300	△ 71,300	130,000	非課税
委託外注費支出	25,298,742	28,634,034	△ 3,335,292	27,000,000	
リース料支出	15,462,316	15,098,832	363,484	15,098,832	
支払手数料支出	68,914	60,696	8,218	66,000	
事業費支出計	50,712,887	53,524,239	△ 2,811,352	51,559,832	
② 管理費支出					
給料手当支出	3,146,000	3,410,580	△ 264,580	3,280,000	非課税
消耗品費支出	0	0	0	0	
修繕費支出	290,212	264,028	26,184	185,000	
租税公課支出	72,000	72,000	0	72,000	非課税
寄付金支出	0	0	0	0	
リース料支出	273,456	196,560	76,896	196,560	
支払手数料支出	302,400	302,400	0	302,400	
管理費支出計	4,084,068	4,245,568	△ 161,500	4,035,960	
事業活動支出計	54,796,955	57,769,807	△ 2,972,852	55,595,792	
事業活動収支差額	△ 1,629,955	△ 2,122,393	492,438	104,208	
科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	27年度予算額	備 考
当期収支差額	△ 1,629,955	△ 2,122,393	492,438	104,208	
前期繰越収支差額	3,785,705	3,785,705			
次期繰越収支差額	2,155,750	1,663,312			

資金の範囲：現預金・未払金(未払法人税・未払消費税を含む)・前受金

資料・4

委託外注費の節減について（案）

平成 27 年 9 月 18 日

交通安全会は、筑波大学施設警備と同一の警備会社である「㈱ライジングサンセキュリティーサービス」と業務請負契約を結び、構内駐車場における無断駐車、違反駐車を取り締まりのほか、ゲート機器のトラブル時の対応等、車両巡回を基準として昼 2 名、夜 2 名が交代で 8:30～深夜 1:00 まで勤務している。また、医学ゲート詰所の出入管理は 24 時間シフト交代制の勤務となっている。

近年、駐車場のゲート化、IC システム化により、無断駐車や違反駐車が減少傾向にある。特に夜間帯における路上等の違反駐車は学生宿舎地区の防犯設備の充実等の影響もあり、減少傾向が顕著に表れていることから、委託外注費の節減のため、夜間業務時間を削減、業務請負契約の見直しを行う。

※ 金額は、平成 27 年度予定価格書の積算価格(1)人件費 に基づく。

■平成 27 年度業務請負契約金額 22,950,000 円 (6 名分、税込)

■ 駐車場内取締業務変更案

現 行			変 更		
日 勤	08:30～17:00	警備員 2名	日 勤	08:30～17:00	警備員 2名
夜 勤	17:00～01:00	警備員 2名	夜 勤	17:00～22:00	警備員 2名

夜間取締業務時間、17:00～翌 1:00 までの内、深夜割増となる 3 時間(22:00～翌 1:00)の業務を削減し、業務時間を 17:00～22:00 までとする。

医学ゲート詰所出入管理に関しては、現行通り 24 時間交代勤務を実施。22 時受付業務終了時に、夜間取締警備員からの引き継ぎを受け、控室での翌 6:00 までの待機(仮眠 4 時間含む)と同時に緊急対応に備える。

$1,056 \text{ 円} / \text{時} \times 3 \text{ 時} \times 2 \text{ 名} = 6,336 \text{ 円}$

$6,336 \text{ 円} \times 238 \text{ 日} = 1,507,968 \text{ 円} / \text{年}$ 警備員 2 名分、年間 1,507,968 円の経費削減

■ 削減見込み額

$6,336 \text{ 円} \times 120 \text{ 日} = 760,320 \text{ 円}$ (27 年度下半期)

＜ 参 考 ＞

■ 平成 22 年度～26 年度までの夜間駐車違反取締業務の実績(違反件数)

年 度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度
取締件数	1,122	661	572	447	612
平 均	4.6	2.7	2.3	1.8	2.5

■ 巡回時間帯別駐車違反取り締まり件数 *27 年度は 7 月 31 日までの実績

	25 年度	26 年度	*27 年度
① 17:00～20:00	132	247	51
② 20:45～22:30	274	313	98
③ 22:45～01:00	41	52	17
合 計	447	612	166

■ 夜間取締業務時間を削減した場合の課題と対策について。

【課題】 学生間で発生する取締業務削減の認知度と、それに伴う宿舎周辺の交通環境及び風紀の悪化。ループ道路等に於ける違反駐車増加。

ゲートトラブル等における緊急時の即応性の低下。(待機場所が医学地区の為、現着までに時間がかかる)

【対策】 防災センター付「筑波大学構内巡回班」の夜間通常巡回に付随して、宿舎地区の駐車違反取締業務を引き継ぐ。また、巡回時間をランダムにする等の仕様内容を検討する。

平成 27 年 9 月 18 日

駐車場ゲート機器に係る年間電気料金の支払いについて

筑波大学交通安全会

交通安全会は、大学より駐車場の管理、運営を委託されているが、発足当初(平成 14 年)に積算したゲート付駐車場の利用料金(月額 900 円)には、3 地区 18 基のゲート機器(下表①)の稼働に係る電気料金が含まれている。

その後、新たに 2 地区 10 基のゲート機器(下表②)を増設、稼働している状況であるが、大学側から当該電気料金を適正に大学に納入される仕組みを構築することが必要であるとの申し出を受けて、製造元である(株)アマノに駐車場ゲート機器に係る概算消費電力の算出を依頼し、それに基づき試算した年間電気料金を納めることとしたい。

① 当初(14 年)積算時の台数 18 基 (9 式)

一の矢地区	一の矢・東	入口・1 出口・1
	一の矢・西	入口・1 出口・1
中地区	K5・本部南	入口・2 出口・2
	K25・第三エリア	入口・2 出口・2
医学地区	54・医学	入口・2 出口・2
	65・松見口	入口・1 出口・1

② 積算後の増加台数 10 基 (5 式)

中地区	23・本部北	入口・2 出口・2
体芸地区	33・体芸東	入口・1 出口・1
	K7・体芸西	入口・1 出口・1
	K29・仮設南	入口・1 出口・1

年間電気料金 納入予定額

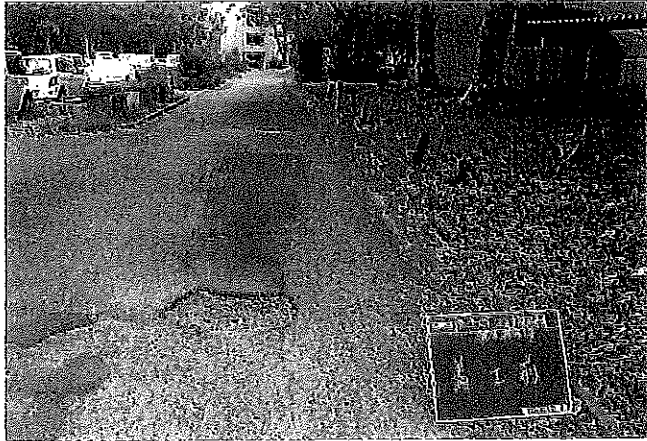
458,551 円

支払方法 : 大学指定口座への振り込み

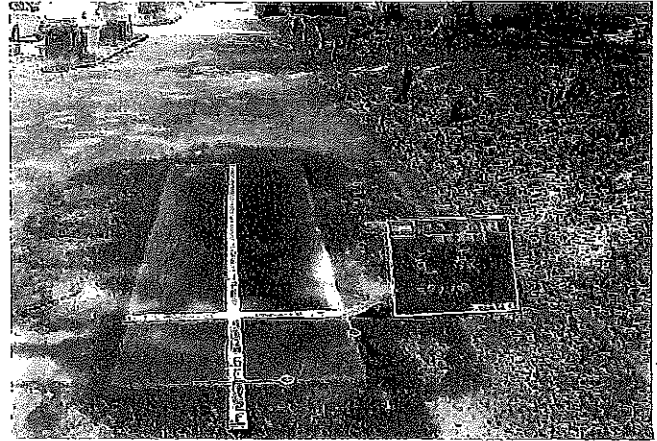
平成27年度 事業内容

58・追越東駐車場内アスファルト舗装補修工事

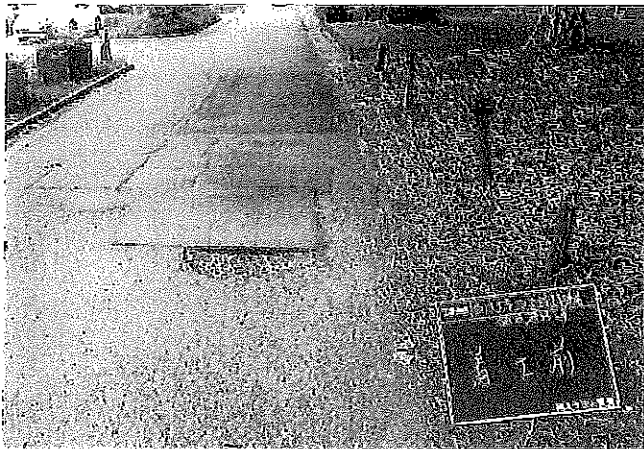
① 補修前



補修後



② 補修前



補修後

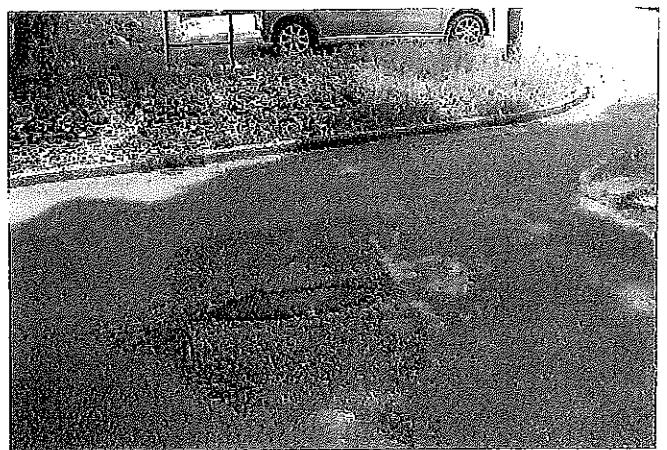


61・看護師宿舎駐車場内アスファルト舗装補修工事

補修前



補修後



平成 27 年 9 月 18 日

交通安全会における検討事項

■ 会費の見直し(値上げ)

交通安全会会費は、平成 14 年発足当初から、臨時会費を 50 円から 100 円(平成 15 年 4 月実施)に値上げして以降、見直しはされていない。昨今の物価の高騰や平成 26 年度からの消費税率 8%への引上げに伴う経費負担、また、今後の税率 10%への引上げによる更なる負担増に対応するため、現在の会費の見直しを検討したい。(ゲート有 900 円/月、ゲート無 400 円/月、指定 500 円/月、臨時 100 円/日、パスカード 600 円/枚)
また、駐車場内に設置されている外灯やゲート機器稼働に係る光熱費の大学への納付についても改めて検討したい。

- ① 現在のゲート数を基本に会費を再計算する。
- ② ゲートの有無にかかわらず全て統一の会費とする。
- ③ 巡回要員削減のためにゲート未設置駐車場のゲート整備費用、維持管理費用を見込む
- ④ 駐車場内のゲート運用、電気料を見込み、大学に納入する。
- ⑤ 駐車場の新設、増設などの整備に係る費用を見込み、整備費用に充てる。(大学との覚書の見直しが必要)

※財務部、「収入・支出改革検討事項報告書」対応策(改善策) 平成 27 年 2 月 5 日 より

■ 37・南地区駐車場、収容台数の縮小について

当駐車場のクラブハウス寄り一列(16 台分)を、当初は放置自転車の仮置き場として利用していたが、自転車通学及び部活動での学生が歩道、植え込みに駐輪し、通行に支障をきたすようになってしまったため、側近の一列分を仮駐輪場とした。当駐車場台数 320 台に対し、年間許可台数は 37 件、スポーツイベント等での臨時駐車場としての利用が多いことから、運用、管理上の問題や影響は特に無いと思われるので、一列 16 台分を駐輪スペースで、駐車場台数 320 台から 16 台分減少した 304 台での運用としたい。

■ パスカード 仕入れ枚数 4,200 枚の内訳

パスカードは、ゲート機器製造元であるアマノ(株)から期末期に翌年度分 4200 枚を仕入れているが、消費税増税に伴い、仕入れ単価も 1 枚当たり 525 円から 540 円に値上がりし、負担増の要因となっている。

右下の表の中で、パスカードの売り上げとして計上できるものは、臨時利用者からの収入で、 $1276 \text{ 枚} \times 600 \text{ 円/枚} = 765,600 \text{ 円}$ が、平成 26 年度の実績となる。それ以外は、年間利用の会費の一部に含まれてしまう為、パスカード代だけの売り上げを抽出し、計上するのは難しい。また、公用パスカード、継続利用者等パスカード代を徴収していない半数以上が安全会の経費負担にもなっているため、パスカード代 600 円の見直し(値上げ)を検討したい。また、IC 化に伴い、職員証、学生証への切り替えが浸透してきたため、パスカードの仕入れを 10%ほど減少させ、経費負担の軽減を検討したい。

【臨時利用業者】

納品、営業、工事等により構内駐車場を一時的に利用する業者を対象とし、年間利用できるパスカードを1枚600円(税込)で、交通安全会事務室にて交付している。ダッシュボード等に表示する『業者証』も併せて交付している。

臨時利用業者	1,276
常駐業者	482
教職員・一般	527
公用	1,088
臨時(1日)利用	650
予備・その他	177
合計	4,200

【常駐業者】

大学と業務契約を結び、教職員や学生と同様にゲート付駐車場を通勤利用している委託業者の従業員に交付している。新規申し込みの際にパスカード代600円を徴収しているが継続利用者からは、パスカード代は徴収していない。

【教職員・一般】

IC化に伴い、学生にはパスカードは交付していないが、教員、病院看護師、医師には業務の特殊性からパスカードを交付している(希望者のみ)。新規申し込みの際にパスカード代600円を徴収している場合、継続利用者には無償で提供している。また、ICカードを持たないもの(非常勤、派遣)も同様に交付している。

【公用】

学内を学会、会議、講義、実験等で申請駐車場以外も頻繁に利用するため、全ゲート共通で利用できる公用パスカードを「申し立て書、理由書」の提出により無償で交付している。個人での申請のほか、研究室、事務室、支援室等、部局単位で複数枚交付している場合もある。数量が多いので有料化を検討したい。

【臨時(1日)利用・その他】

本学教職員、学生を対象に、当日やむを得ず車で臨時利用する際に、案内口(中央、松見口、本部防災)での受け付けにより、1日利用できるゲート付駐車場の臨時パスカードを100円で交付している。出口ゲートで自動的に回収され一回使いきりとなっているため、複数回利用しなければならない場合は、再度受付が必要となる。また、パスカードは回収後、再利用しているため、磁気部分の消耗度が激しいため、劣化しやすく交換用の予備パスカードを常備しておく必要がある。

その他、身障者、その介護者、ボランティア等においては、無償でパスカード(全学共通)を提供している。磁気不良やゲートトラブル、損傷等により修復不能な場合は、再発行しているが、紛失した場合は再発行時に600円を徴収している。